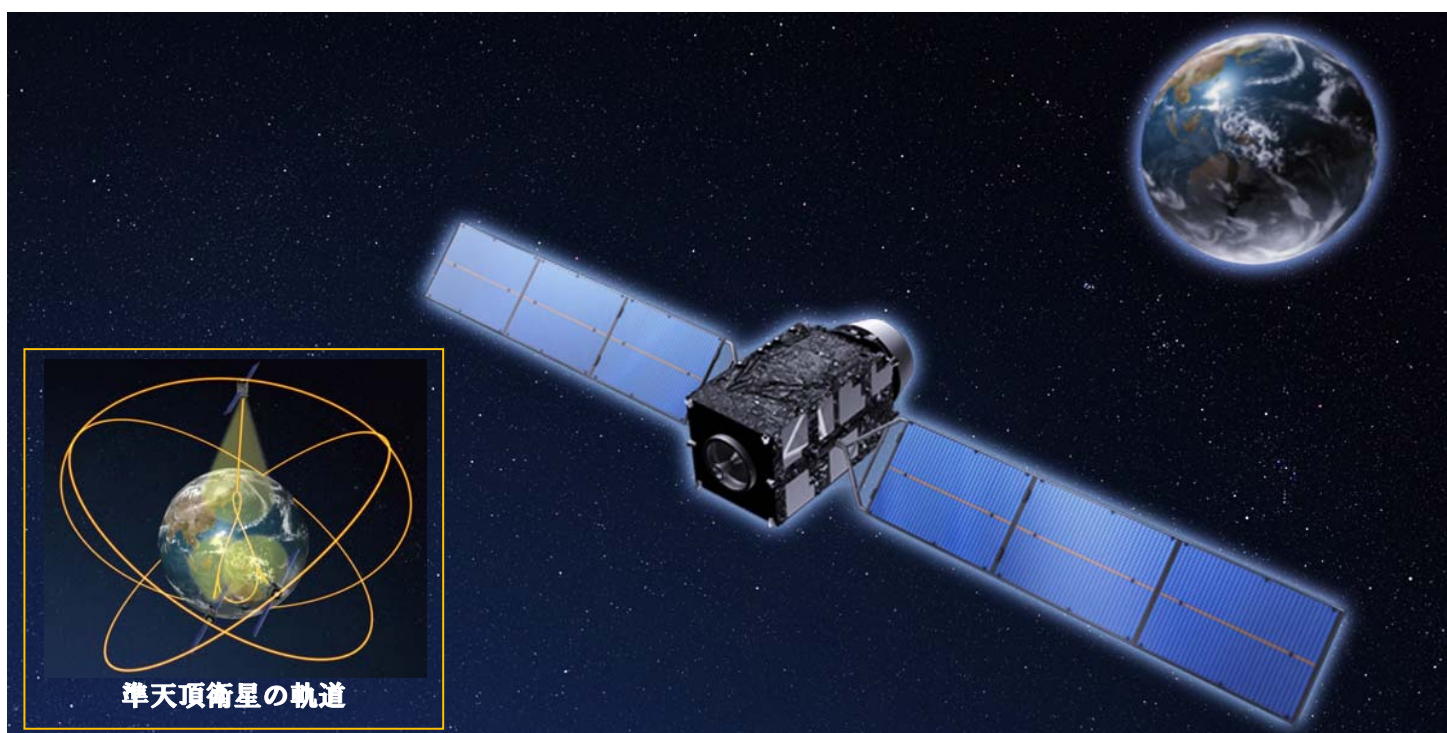


# 準天頂衛星初号機「みちびき」 準天頂軌道への投入に成功！

JAXA は、平成22年9月11日に種子島宇宙センターから打ち上げた準天頂衛星初号機「みちびき」について、ドリフト軌道※から準天頂軌道に投入するための軌道制御を9月21日から実施してきました。最終の軌道制御を9月27日6時28分から約50秒間にわたり実施し、その後の軌道計算の結果、日本上空を通る中心経度約135度の準天頂軌道に投入したことを確認しました。今後、「みちびき」を用いた技術実証を行う関係各機関と協力して、搭載機器等の初期機能確認を約3ヵ月間行う予定です。

※ドリフト軌道：準天頂軌道に投入される一歩手前の軌道

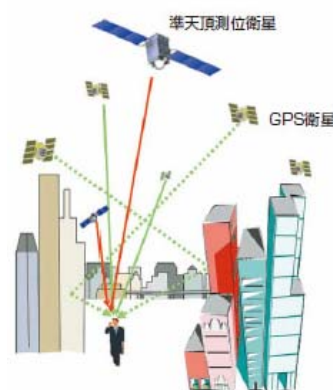


## 真上から日本を見守る準天頂衛星システム

都市部や山間地では、高い建物、山などが障害となり人工衛星からの測位信号が届かなかったり、反射波によって大きな誤差がでたりして、道に迷ったりすることもたびたびありました。こうした状況を解消するのが準天頂衛星初号機「みちびき」です。

準天頂衛星システムは、日本のほぼ天頂(真上)を通る軌道を持つ人工衛星を複数機組み合わせた衛星システムで、常に1機の人工衛星を日本上空に配置することができます。

人工衛星がほぼ真上に位置することで、GPS衛星の電波が測位を行うために必要な衛星数が見通せない場所や時間においても、準天頂衛星の信号を加えることで測位ができる場所と時間を拡げることができます。



準天頂衛星初号機

みちびき

特設サイト

～見上げれば宇宙から照らす

詳細は、「みちびき特設サイト」、または

JAXA 準天頂衛星

で検索！